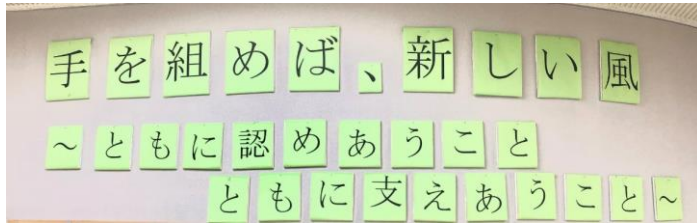


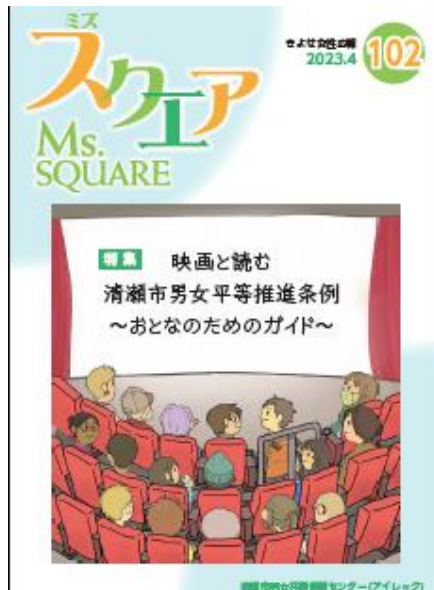
清瀬市男女共同参画センター アイレック

清瀬市男女共同参画センター アイレック



1995年(平成7年) 清瀬駅前に「清瀬市男女共同参画センター」誕生
公募によって決まった愛称 アイレック はセンターの機能を示しています

- I: Information(情報) 資料の展示や図書の貸出
- L: Learning(学習) 講座や講演会の実施
- E: Exchange(交流) 個人やグループの交流、活動の拠点
- C: Consultation(相談) 女性が抱える様々な悩みの相談



市民の編集による女性広報誌「Ms.スクエア」
既に100号を発刊。
4月発刊の102号は
「特集:映画と読む清瀬市男女平等推進条例
~おとなのためのガイド~」

アイレックの沿革等についてはこちらを
ご参照ください

<https://www.city.kiyose.lg.jp/siseijouhou/danjosankaku/1002890/>



清瀬市男女共同参画センター アイレック

アイレックは、市民の活動の拠点であると同時に、**市の男女共同参画施策を牽引**

2000年(平成12年)「清瀬市男女平等推進プラン」策定

2006年(平成18年)「清瀬市男女平等推進条例」制定

2014年(平成26年)「清瀬市男女平等推進条例 子どものためのガイドブック」発行

2017年(平成29年)「第3次清瀬市男女平等推進プラン」策定

2021年(令和3年) 男女共同参画センター運営委員会分科会

①パートナーシップ制度

②清瀬市男女平等推進条例 子どものためのガイドブック

2022年(令和4年) 2つの分科会は形を変えて活動を継続

①性の多様性啓発事業連絡会

②清瀬市男女平等推進条例を育てる会(サポーターチーム)

(毎年、市内小学校の小学5年生に配布)



「清瀬市男女平等推進条例 子どものためのガイドブック」新装版 2022年7月発行

清瀬市男女共同参画センター アイレック

市民によるアイレック

男女共同参画センター運営委員会
サポーターグループ 現在5チーム
登録団体 現在15団体

イベントチーム:アイレック主催事業の企画協力、事業運営
図書チーム:アイレックの所蔵図書の分類、整理や本の紹介
切り抜きチーム:男女共同参画関連新聞記事を切り抜き、掲示
保育チーム:保育室内の壁面装飾、遊具のメンテナンス
清瀬市男女平等推進条例を育てる会:分科会から発展



保育チームによる保育室の壁面装飾。
保育室の窓からは電車が見える♪



男女平等推進条例を育てる会の企画
によるイベントの実施→



～手を組めば新しい風～
令和5年「男女共同参画週間」記念講座 PART II

声に出して

清瀬市男女平等推進条例を読む会 ＜朗読入門＞

元アナウンサーの谷岡さんに朗読の手ほどきを受け、条例を声を出して読んでみることで、きっとあなたの心に新しいなにかがうまれる…。

清瀬市では平成18年に他市に先駆けて清瀬市男女平等推進条例を制定し、平成26年からは、毎年「清瀬市男女平等推進条例・子どものためのガイドブック」を市内の小学5年生に配布し啓発につとめています。この条例には5つの理念ははじめ優れた点がたくさんあります。目で見て、声を出し自分の耳で聞く事で理解を深めてみませんか。

日時:2023年7月15日(土)

14:00～16:30(開場13:30)

場所:アミューホール(アミュービル7階)

講師:谷岡 理香さん



谷岡 理香 (たにおかりか)

清瀬市男女共同参画センター アイレック

最近のイベント

←アイレックが開館した10月に毎年アイレックまつりを実施。

男女共同参画週間、人権週間(12月)、国際女性デー(3月)にはイベントチームの企画による講演会を実施 ↓

手を組めば新しい風
Vol.28 アイレックまつり
バザーとパネル展示もやります!

10月8日(日) 14:00～ 開場 13:30 定員 150名(要予約)

**平和とジェンダー
～家族・人権・個人をどう考えるか～**

毎日ニュースとして知らされるウクライナの惨状を見ると、家族・人権・個人が壊れそぎ壊されてしまう恐怖を感じます。様々な形の家族、かけがえのない人権、あらゆる性の尊厳を守るために、私たち市民はどう生きるべきなのでしょうか。田中優子さんの広い見地からお話を伺い、あらためて平和とジェンダーについて考えます。

講演者 **田中 優子** さん

法政大学名誉教授・前総長、江戸東京研究センター特任教授。専門は日本近世文化・アジア比較文化。研究領域は、江戸時代の文学、美術、生活文化。2005年度系統教授。著書に『江戸の想像力』(岩波選書)、『江戸の物語』(岩波選書)、『江戸の物語』(岩波選書)、『サントリー学芸賞』、『読者と日本人』(岩波選書)。

10月7日(土) 14:00～ 開場 13:30 定員 150名(要予約)

**古典落語の女たち
～今を生きる林家つる子の挑戦～**

人権が尊重され、男女平等が進む現代社会に育ち、古いしきたりがまだまだ色濃くある男性中心の落語界という環境の中に身を置き取組んできたことをお話しさせていただきます。さらに、女性目線による落語を披露いただきます。

講演者 **林家 つる子** さん

落語家、群馬県高崎市出身。中央大学文学部人文学科中国語国文学専攻卒業。4人姉妹の長女。落語アンバサダー、日本落語協会常任顧問(現職)。2010年9月9代林家正蔵に弟子入り。2015年11月22日に昇進。2024年3月21日より真打昇進予定。

10月7日(土) 17:30～ 開場 17:00 定員 150名(要予約)
10月8日(日) 10:30～ 開場 10:00 定員 150名(要予約)

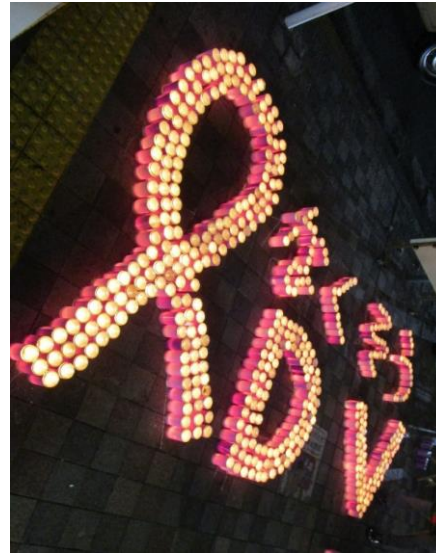
映画 **「未来を花束にして」(字幕)**

舞台は1910年代のイギリス。思想も教養も豊かない、私はひとりの母親。ただ我が子のその手に、希望をつなぎたかった。これは、女性の参政権を求めて立ち上がった「名もなき花」の、真実に基づく物語。彼女たちの稀代の種は、世紀を超えて、大輪の花となった。

参加無料・保育有(先着順・無料)

講演会・映画ともに**予約制**です。

主催：アイレックまつり実行委員会



11月10日(金)午後4時～7時 パープルキャンドル
「女性に対する暴力をなくす運動」
期間にちなんで、清瀬駅北口で紫のキャンドルを灯します

令和5年度男女共同参画週間記念講座

「子どもの学び、育ちをどう支えるか」

不登校の子供たちが増えているといいます。

学校はどうなっているのでしょうか？

長年、教育に携わってこられた昔ながらの先生から現状をお聞きし、

子どもたちやその親たちに、あなた方は「ありのまま」でいいんだよと

励ましのエールを送っていただきます。

子どもたちや教育について一緒に考える機会にしませんか！



※文部科学省令和3年度調査より

日時：7月2日(日) 14時 - 16時 (13時半開場)

場所：アミューホール(アミュービル7階) 参加費：無料

講師：菅間 正道氏(自由の森学園高等学校校長)



1967年生まれ。社会科教師、教育科学研究会所属。
著書に『はじめて学ぶ憲法教室！』(新日本出版社 2015年)
『向かい風が吹いても カウンターを生きたる10人の声』(子どもの未来社 2020年)也。



アイレックについてはこちらをご参照ください→

<https://www.city.kiyose.lg.jp/siseijouhou/danjosankaku/index.html>